

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立二之江中学校

教科	美術		学年	3
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
空想は現実を超えて	3	シュルレアリズムの不思議な世界観を味わう。	・心でとらえたイメージを、形や色で表現することに関心を持つ。・イメージをもとに、形や色を単純化や強調するなどして構成を工夫する。・材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表す。・イメージをどのように形や色で表現しているか、作者の工夫を感じ取る。	
鑑賞・制作 光が生むリアルとドラマ	3	光と陰影の効果をとらえる。	・意図に合わせて工夫された、光の表現とその効果の違いについて関心をもつ。・光と陰影の表現を工夫した作品を比較して鑑賞し、書かれた場面とのかかわりも考え、作品の意図を感じ取る。	
京都・奈良の伝統工芸品	7	古都奈良・京都の伝統工芸品について学ぶ。	・歴史ある古都奈良・京都の伝統工芸品に関心を持つ。作品の特徴をみつけ、美しさを感じることができる。	
おいしいごはん	10	本物の食品の特徴をとらえた表現を味わう。	・食べ物をしっかり観察し、特徴をとらえた表現ができている。・どのように演出すれば効果的なのか、構想を練る材料や用具の選択、使い方を工夫し、意図に合った構想を練っている。	
デザイン・デザインで変える現在と未来	2	人々の生活や環境を変えるデザインの効果について考える。	・地域の問題を解決したり、未来を志向したりするデザインの活動について関心を持っている。・地域の状況や社会的な背景を考え、作者の考えと表現の工夫を読み取り、作品の良さを味わっている。	
浮世絵はすごい	1	浮世絵表現の良さや美しさ、文化の継承について考え鑑賞す	浮世絵表現の良さや美しさ、文化の継承について考え鑑賞している。	
浮世絵はすごい	1	版画表現の構図や色彩の特徴を活かして取り組む。	・構図や色彩、線、彫り、すりの違いによって変わる印象を意識して表そうとしている。	
日本の美意識	3	日本の伝統的な芸術に関心を持ち、見方や感じ方を広げる。	・工芸品に生かされている自然の美しさや季節の彩りなどに関心を持っている。・生活に息づく日本の伝統的な形や色材料などから様々な発想をもつ。	
心がほっとなごむもの	3	使いやすさや、美しさを意識し、素材を活かして表現する。	・光と影を演出することによって変わる印象の違いを意識して表している。・作品や空間の意味を考え、どのように演出すれば効果的なのか、構想を練る材料や用具の選択、使い方を工夫し、意図に合った構想を練っている。	
動きを活かして印象的に	6	伝えたい、イメージや場面を創造し映像表現をする。	・作品のテーマや制作の仕方について友だちと意見を出し合い、共同で作品の構想を練っている。・友だちと役割を分担し、見通しをもって制作している。・3年間を振り返り、様々な思いを作品に込めて構想を練り、制作をしている。	